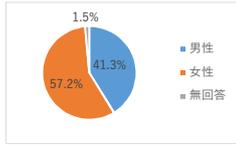


令和4年度県政モニターアンケート「山梨県の環境に関するアンケート調査」結果概要

3 集計結果

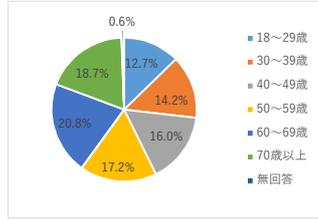
(1) あなたの性別はどちらですか。

男性	137人	(41.3%)
女性	190人	(57.2%)
無回答	5人	(1.5%)
合計	332人	(100.0%)



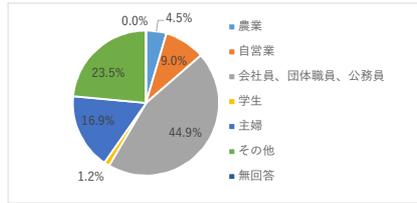
(2) あなたの年齢はおいくつですか。

18～29歳	42人	(12.7%)
30～39歳	47人	(14.2%)
40～49歳	53人	(16.0%)
50～59歳	57人	(17.2%)
60～69歳	69人	(20.8%)
70歳以上	62人	(18.7%)
無回答	2人	(0.6%)
合計	332人	(100.0%)



(3) あなたの職業をお尋ねします。

農業	15人	(4.5%)
自営業	30人	(9.0%)
会社員、団体職員、公務員	149人	(44.9%)
学生	4人	(1.2%)
主婦	56人	(16.9%)
その他	78人	(23.5%)
無回答	0人	(0.0%)
合計	332人	(100.0%)



その他を選んだ方は、内容を記入してください。

無職	21人	家事専業	1人	会社経営	1人
パート	31人	契約社員	1人	契約社員	1人
アルバイト	10人	派遣社員	1人	勤務歯科医師	1人
会社役員	4人	期間任用職員	1人	歯科衛生士	1人
派遣社員	1人	年金生活	1人	その他	1人

(4) あなたのお住まいはどちらですか。

甲府市	79人	(23.8%)
富士吉田市	23人	(6.9%)
都留市	14人	(4.2%)
山梨市	7人	(2.1%)
大月市	8人	(2.4%)
韮崎市	9人	(2.7%)
南アルプス市	27人	(8.1%)
北杜市	21人	(6.3%)
甲斐市	27人	(8.1%)
笛吹市	26人	(7.8%)
上野原市	6人	(1.8%)
甲州市	15人	(4.5%)
中央市	8人	(2.4%)
西八代郡	2人	(0.6%)
南巨摩郡	15人	(4.5%)
中巨摩郡	8人	(2.4%)
南都留郡	29人	(8.7%)
北都留郡	6人	(1.8%)
無回答	2人	(0.6%)
合計	332人	(100.0%)

I 本県の環境全般に関するアンケート

問1 現在、あなたが重要だと考える課題を次の中から3つ以内で選んでください。

	回答数合計	回答者数に対する割合
少子・高齢化の進展	171人	18.6%
地球の温暖化や砂漠化等地球規模での環境問題	136人	14.8%
ごみ処理や河川の汚れなど日常生活環境問題	115人	12.5%
福祉・介護の問題	105人	11.4%
生活のゆとりや質の向上に関する問題	76人	8.3%
雇用や景気の問題	75人	8.2%
子ども等の教育問題	53人	5.8%
世界の戦争や紛争問題	47人	5.1%
自分や家族の健康に関する問題	40人	4.4%
政治や企業の倫理の問題	28人	3.1%
交通事故の増加など交通問題	27人	2.9%
世界的な食糧問題	23人	2.5%
その他(自由記述)	5人	0.5%
集計対象外(無回答・4つ以上選択等)	17人	1.9%
合計(のべ)	918人	(100.0%)

問2 本県の自然環境についてあなたは現在の程度満足していますか。

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満足	不満足	無回答	合計
野や山など自然とのふれあい	128人 (38.6%)	142人 (42.8%)	53人 (16.0%)	7人 (2.1%)	2人 (0.6%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
水や水辺とのふれあい	91人 (27.4%)	136人 (41.0%)	84人 (25.3%)	18人 (5.4%)	3人 (0.9%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
土とのふれあい	96人 (28.9%)	129人 (38.9%)	93人 (28.0%)	9人 (2.7%)	2人 (0.6%)	3人 (0.9%)	332人 (100.0%)
野生の小鳥や昆虫、植物とのふれあい	81人 (24.4%)	140人 (42.2%)	95人 (28.6%)	12人 (3.6%)	3人 (0.9%)	1人 (0.3%)	332人 (100.0%)
総合した本県の自然環境	101人 (30.4%)	163人 (49.1%)	52人 (15.7%)	13人 (3.9%)	2人 (0.6%)	1人 (0.3%)	332人 (100.0%)

問3 3 本県の生活環境についてあなたは現在のどの程度満足していますか。

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
空気(大気)のきれいさ	156人 (47.0%)	142人 (42.8%)	27人 (8.1%)	7人 (2.1%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
川や湖のきれいさ	67人 (20.2%)	160人 (48.2%)	70人 (21.1%)	30人 (9.0%)	1人 (0.3%)	4人 (1.2%)	332人 (100.0%)
周辺の静けさ	97人 (29.2%)	147人 (44.3%)	54人 (16.3%)	28人 (8.4%)	6人 (1.8%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
周辺の清潔さ	60人 (18.1%)	170人 (51.2%)	65人 (19.6%)	29人 (8.7%)	6人 (1.8%)	2人 (0.6%)	332人 (100.0%)
総合した本県の生活環境	76人 (22.9%)	183人 (55.1%)	59人 (17.8%)	11人 (3.3%)	3人 (0.9%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)

問4 4 本県の人文環境についてあなたは現在のどの程度満足していますか。

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
町や田畑の美しいたすまい	72人 (21.7%)	154人 (46.4%)	82人 (24.7%)	19人 (5.7%)	3人 (0.9%)	2人 (0.6%)	332人 (100.0%)
公園等のオープンスペース	48人 (14.5%)	125人 (37.7%)	98人 (29.5%)	51人 (15.4%)	7人 (2.1%)	3人 (0.9%)	332人 (100.0%)
古いまちなみや遺跡、史跡など歴史的環境	52人 (15.7%)	119人 (35.8%)	119人 (35.8%)	35人 (10.5%)	3人 (0.9%)	4人 (1.2%)	332人 (100.0%)
芸術や伝統工芸、民俗芸能など文化的環境	40人 (12.0%)	124人 (37.3%)	131人 (39.5%)	29人 (8.7%)	5人 (1.5%)	3人 (0.9%)	332人 (100.0%)
総合した本県の人文環境	48人 (14.5%)	133人 (40.1%)	118人 (35.5%)	27人 (8.1%)	3人 (0.9%)	3人 (0.9%)	332人 (100.0%)

問5 5 あなたは環境保全への取り組みでどのようなことに参加・協力できますか。

	すでに参加・協力している	今後、参加・協力したい	できそうにない	無回答	合計
自治会の清掃作業に参加	213人 (64.2%)	66人 (19.9%)	53人 (16.0%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
自主的に行う自宅周辺の清掃	197人 (59.3%)	97人 (29.2%)	38人 (11.4%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
ピアノ等の近隣騒音を出さない	257人 (77.4%)	50人 (15.1%)	21人 (6.3%)	4人 (1.2%)	332人 (100.0%)
省エネ・省資源への取組	237人 (71.4%)	87人 (26.2%)	8人 (2.4%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
環境保全に関するボランティア活動に参加	67人 (20.2%)	166人 (50.0%)	98人 (29.5%)	1人 (0.3%)	332人 (100.0%)

問6 6 あなたは、ご自身の職場や地域で環境保全活動がどの程度展開されていると感じていますか。

かなり展開されている	9人 (2.7%)
ある程度展開されている	179人 (53.9%)
あまり展開されていない	89人 (26.8%)
全く展開されていない	11人 (3.3%)
わからない	42人 (12.7%)
無回答	2人 (0.6%)
合計	332人 (100.0%)

問7-1 7-1 環境問題に関する研修会・講演会等を受講したことがありますか。

受講したことがあり、今度とも機会があれば受講したい	27人 (8.1%)
受講したことはあるが、今後、受講するかはわからない	36人 (10.8%)
受講したことはないが、今後機会があれば受講したい	182人 (54.8%)
受講したことはなく、今後とも受講することはない	86人 (25.9%)
無回答	1人 (0.3%)
合計	332人 (100.0%)

問7-2 7-2 どのような内容の環境に関する研修会などがあればよいと思いますか。(2つまで回答可)

	回答数合計	回答者数に対する割合
ごみ処理やリサイクルなど廃棄物問題に関する研修	96人	20.5%
山や森林、みどりの保全など美しい自然環境を守るための研修	57人	12.2%
大気・水質・土壌の汚染や騒音・振動など公害問題に関する研修	47人	10.0%
環境保全の実践活動を進めるための研修	142人	30.3%
地球温暖化など地球規模での環境問題に関する研修	54人	11.5%
希少な植物や動物の保護などに関する研修	57人	12.2%
その他(自由記述)	4人	0.9%
集計対象外(無回答・3つ以上選択等)	12人	2.6%
合計	469人	(100.0%)

問7-3 7-3 環境に関する研修をどのような場所で受けたと思いますか。

公民館など市町村の施設	117人 (35.2%)
富士山科学研究所、科学館など県の施設	28人 (8.4%)
自宅でパソコン等を利用して	93人 (28.0%)
野外や研修テーマとの関連のある場所	83人 (25.0%)
その他(自由記述)	2人 (0.6%)
無回答	9人 (2.7%)
合計	332人 (100.0%)

問8 8 より良い環境の維持・創造のために県や市町村が行うことがよいと思うことを、次の中から3つ以内で選んでください。

	回答数合計
周辺の山・川などの自然環境の保全や水辺環境を整備すること	155人
川や湖をきれいにするために下水道その他の施設を整備すること	129人
学校等において、環境教育・学習を行うこと	118人
ごみの不法投棄を取り締まること	85人
用途に応じた適切な土地利用を行うこと	65人
廃棄物の最終処分場や再資源化施設を整備すること	66人
大気汚染、騒音、騒音などの公害を防止するため、自動車、工場などへの規制を行うこと	64人
地球温暖化対策を行うこと	60人
広告や看板の設置を規制したり、電柱のない街並みを整備すること	38人
樹木や花などを身近に植え環境美化を行うこと	35人
地域住民による自主的な組織づくりやボランティア活動を支援すること	26人
環境保全、快適環境の創造を目指した研究体制を整備すること	19人
史跡や歴史的な建造物の保全を行うこと	19人
環境保全活動の普及啓発活動を行うこと	18人
環境情報の提供を行うこと	13人
ダイオキシン対策を行うこと	1人
その他(自由記述)	3人
特に必要ない	0人
集計対象外(無回答・4つ以上選択等)	11人
合計(のべ人数)	885人

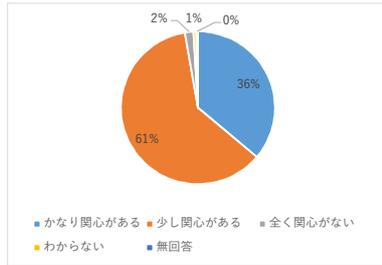
問9 山梨県では、平成17年2月に山梨県環境基本計画を策定し、次の施策を展開しています。これらのなかで、あなたが特に重要だと考える施策を次の中から3つ以内で選んでください。

	回答数合計
循環型社会システムの確立	133人
豊かな自然環境の保全	108人
環境教育・環境学習の推進	72人
地球環境保全対策の推進	72人
水環境の保全等の推進	75人
富士山の環境保全対策の推進	65人
地球温暖化対策の推進	83人
廃棄物等の発生抑制等の推進	63人
森林・緑地の保全等の推進	68人
さわやかな生活環境の保全と創造	34人
環境の保全に資する農業の促進	45人
地球環境保全対策の推進	23人
環境に関する自発的な活動の促進	18人
環境に関する情報の提供	25人
集計対象外(無回答・4つ以上選択等)	8人
合計(延べ人数)	892人

II 地球温暖化問題に関するアンケート

問10 地球温暖化について、あなたは関心がありますか。

かなり関心がある	120人 (36.1%)
少し関心がある	203人 (61.1%)
全く関心がない	6人 (1.8%)
わからない	2人 (0.6%)
無回答	1人 (0.3%)
合計	332人 (100.0%)



問11 地球温暖化の主な原因は、私達の日常生活から排出される二酸化炭素など温室効果ガスであると言われています。そこで、地球温暖化を防止するためには、私達の生活における省エネルギー対策が有効な手段となります。あなたの日常生活の中で、次の取組状況についてお答えください。

A 家電製品、家庭用品などの購入	すでに実行している	これから実行したい	実行するつもりはない	わからない	無回答	合計
家電製品は省エネルギー型のものとなるべく購入する	221人 (66.6%)	97人 (29.2%)	5人 (1.5%)	8人 (2.4%)	1人 (0.3%)	332人 (100.0%)
照明はLED(発光ダイオード)電球など、省エネルギー型のものとなるべく利用する	264人 (79.5%)	61人 (18.4%)	4人 (1.2%)	3人 (0.9%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
住宅を断熱化(天井、壁、床などへの断熱材の使用)する	172人 (51.8%)	98人 (29.8%)	22人 (6.6%)	39人 (11.7%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
太陽光発電を行う	83人 (25.0%)	83人 (25.0%)	80人 (24.1%)	76人 (22.9%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
ソーラーシステム(太陽熱での暖房、給湯など)を利用する	65人 (19.6%)	93人 (28.0%)	94人 (28.3%)	80人 (24.1%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
B 家電製品の使用	すでに実行している	これから実行したい	実行するつもりはない	わからない	無回答	合計
不要な照明はこまめに消したり、テレビ・ラジオなどをつければなしにしない	292人 (88.0%)	36人 (10.8%)	2人 (0.6%)	1人 (0.3%)	1人 (0.3%)	332人 (100.0%)
エアコン・こたつなどの冷暖房器具を使用する際、使用時間や設定温度に気を付ける	292人 (88.0%)	33人 (9.9%)	5人 (1.5%)	1人 (0.3%)	1人 (0.3%)	332人 (100.0%)
掃除機やエアコンのフィルタの定期清掃をする	266人 (80.1%)	58人 (17.5%)	5人 (1.5%)	3人 (0.9%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
待機電力を消費する製品は、使用しないとき電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く	183人 (55.1%)	110人 (33.1%)	29人 (8.7%)	9人 (2.7%)	1人 (0.3%)	332人 (100.0%)
冷蔵庫に物を詰めすぎたり、むやみに開けたりしない	234人 (70.5%)	85人 (25.6%)	5人 (1.5%)	8人 (2.4%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
洗濯はできるだけ手洗いする	265人 (79.8%)	40人 (12.0%)	16人 (4.8%)	10人 (3.0%)	1人 (0.3%)	332人 (100.0%)
風呂に入るときは、間隔をおかず続けて入る	213人 (64.2%)	77人 (23.2%)	21人 (6.3%)	20人 (6.0%)	1人 (0.3%)	332人 (100.0%)
シャワーの使用回数、使用時間を短縮する	203人 (61.1%)	76人 (22.9%)	28人 (8.4%)	21人 (6.3%)	4人 (1.2%)	332人 (100.0%)

問12 運輸部門(自動車、鉄道、航空、海運など)からの二酸化炭素排出量の約9割が自動車であり、なかでも自家用乗用車からの排出量が増大しています。あなたの日常生活の中で、次の取組状況についてお答えください。

	すでに実行している	これから実行したい	実行するつもりはない	わからない	無回答	合計
ハイブリッド車、低燃費車や低排出ガス自動車を購入する	122人 (36.7%)	129人 (38.9%)	34人 (10.2%)	46人 (13.9%)	1人 (0.3%)	332人 (100.0%)
近くの用事はなるべく徒歩か自転車で行く	147人 (44.3%)	129人 (38.9%)	38人 (11.4%)	18人 (5.4%)	0人 (0.0%)	332人 (100.0%)
停車中はこまめにエンジンを切る	208人 (62.7%)	73人 (22.0%)	24人 (7.2%)	25人 (7.5%)	2人 (0.6%)	332人 (100.0%)
自動車運転時には、緩やかな発進をしたり、定速走行など経済走行をする	269人 (81.0%)	42人 (12.7%)	4人 (1.2%)	15人 (4.5%)	2人 (0.6%)	332人 (100.0%)
タイヤの空気圧など、こまめに点検整備する	223人 (67.2%)	92人 (27.7%)	4人 (1.2%)	11人 (3.3%)	2人 (0.6%)	332人 (100.0%)

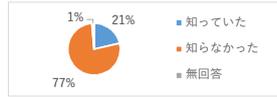
問13 地球温暖化防止のために県や市町村が行うことがよいと思うことを、次の中から3つ以内で選んでください。

	回答数合計
電気自動車の低公害車を普及させるための支援	117人
ごみの減量化、リサイクルの推進	114人
学校での地球環境問題について正しい知識を教えるなどの環境教育	110人
省エネルギー設備等の公共施設への率先導入	104人
省エネルギーや新エネルギーなどの温暖化防止に役立つ機器などの購入に対する補助	88人
温暖化防止対策を行うことが家計の助けになるような経済の仕組みづくり	75人
温暖化防止に役立つ技術開発への支援	65人
地球温暖化についてわかりやすく解説したパンフレットや普段の生活の中で自分ができる環境保全の方法を示した冊子等の配布	62人
森林の保全整備、都市公園の整備等緑地の推進	42人
省エネルギーや新エネルギー対策など温暖化防止に役立つ指導や普及	39人
環境に配慮した活動を行っている企業への支援	36人
環境保全活動を行っている自治会や市民団体への支援	28人
二酸化炭素などの温室効果ガスの排出に対する条例などによる規制	24人
その他(具体的に:自由記述)	3人
特に必要ない	1人
集計対象外(無回答・4つ以上選択等)	4人
合計(延べ人数)	912人

問14 県では、生態系の保全や野生動物の保護等を通じた自然環境施策についても行っているところですが、自然環境全般に係ることについてお尋ねします。当てはまる物を次の中から選んでください。

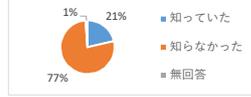
(1)あなたは、「甲武信ユネスコエコパーク」をご存じでしたか。

1 知っていた	71	21%
2 知らなかった	257	77%
無回答	4	1%
合計	332	100%



(2)また、昨年11月に武田の杜サービスセンター内にオープンした「甲武信ユネスコパークインフォメーションセンター」をご存じでしたか。

1 知っていた	17	21%
2 知らなかった	311	77%
無回答	4	1%
合計(人)	332	100%



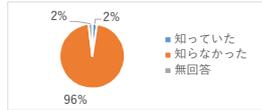
(3)生物多様性とは、「多様な生きものがそれぞれに個性や働きを持ち、支え合って生きていること」を言います。あなたは、「生物多様性」をご存じでしたか。

1 内容も知っている	72	22%
2 言葉を聞いたことはある	161	48%
3 知らなかった	96	29%
無回答	3	1%
合計(人)	332	100%



(4)また、令和元年11月に策定した「山梨県生物多様性戦略」(第2次山梨県環境基本計画第5章第3節)をご存じでしたか。

1 知っていた	8	2%
2 知らなかった	318	96%
無回答	6	2%
合計(人)	332	100%



問15 県では、令和7年度の生活系ゴミの排出量を平成30年度の21万トンから18万トンに削減することを目指しております。ゴミの発生を抑制(リデュース)するための取り組みについてお尋ねします。当てはまる物を次の中から選んでください。

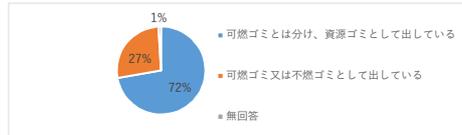
(1)ごみを減らすために、マイバッグの持参や使い捨てプラスチック使用製品の辞選に取り組んでいますか。ひとつ選んでください。

1 ほぼ毎日行っている	245	74%
2 時々行っている	74	22%
3 行った方が良いと思うが行っていない	7	2%
4 行っていない	2	1%
無回答	4	1%
合計(人)	332	100%



(2)ペットボトルやトレイ以外のプラスチックごみ(例えば、ペットボトルのラベルやお菓子・冷凍食品の袋、洗剤のボトルなど)はどのように捨てていますか。

1 可燃ゴミとは分け、資源ゴミとして出している	240	72%
2 可燃ゴミ又は不燃ゴミとして出している	89	27%
無回答	3	1%
合計(人)	332	100%



(3)汚れたプラスチックごみ(洗剤のボトルや豆腐のパックなどで水が落とせるもの)について、どのようにゴミに出していますか。

1 極力洗って資源ゴミとして出している	214	64%
2 洗わずにそのまま資源ゴミとして出している	22	7%
3 可燃ゴミ又は不燃ゴミとして出している	93	28%
無回答	3	1%
合計(人)	332	100%



(4)食品ロス(食べられるのに捨てられてしまう食品)という言葉とその意味を知っていますか

1 言葉も意味も知っていた	317	95%
2 言葉は知っているが、意味は知らない	11	3%
3 知らない(このアンケートで知った)	1	0%
無回答	3	1%
合計(人)	332	100%



(5)あなたの家庭(飲食店の食事を除く)で食品ロスを減らすために、すでに行っていることはありますか(複数可)

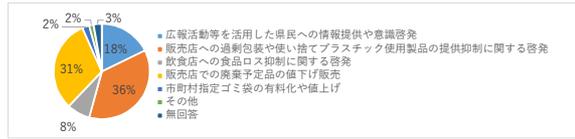
1 購入した食品を食べることを忘れないよう気を付けている	274人
2 在庫があるのに購入しないよう、冷蔵庫などの在庫確認をしている	220人
3 パラ売り、量り売り、少量パックなどの活用による、適宜購入を行っている	96人
4 料理を作りすぎないようにしている	104人
5 好き嫌いをせず、食べきるよう努力している	114人
6 野菜の皮を料理に使うなど、無駄のない調理をしている	51人
7 余った食材をNPO法人などに寄付している	9人
8 何もしていない	2人
9 その他	6人
10 無回答	3人
合計(延べ人数)	879人

(6)生ごみを減らすために行っている取り組みはありますか(複数可)

1 野菜くずや野菜の皮を他の用途に利用している	54人
2 水を切ってからごみに出している	228人
3 生ごみ処理機で堆肥化している	34人
4 取り組みは行っていない	50人
5 その他	8人
無回答	8人
合計(延べ人数)	382人

(7)ごみの発生を抑制するためには、どのような施策がもっとも有効と考えますか

1 広報活動等を活用した県民への情報提供や意識啓発	59	18%
2 販売店への過剰包装や使い捨てプラスチック使用製品の提供抑制に関する啓発	121	36%
3 飲食店への食品ロス抑制に関する啓発	26	8%
4 販売店での廃棄予定品の値下げ販売	104	31%
5 市町村指定ゴミ袋の有料化や値上げ	8	2%
6 その他	5	2%
無回答	9	3%
合計	332	100%



問16 いったん使用された製品、部品、容器等を、形状を維持したまま再使用すること(リユース)は、リサイクルに比べ、発生する廃棄物等の量も少ないとされています。そこで、再使用(リユース)に関する取り組みについてお尋ねします。

(1)古着などは捨てずに、WEBにおけるフリマサイトやフリーマーケットへの出品、リサイクルショップでの売買など再使用していますか。

1 できるだけ再使用している	86	26%
2 再使用することが多いが捨てる時もある	94	28%
3 再使用することもあるが、捨てる時が多い	85	26%
4 捨てている	63	19%
無回答	4	1%
合計	332	100%



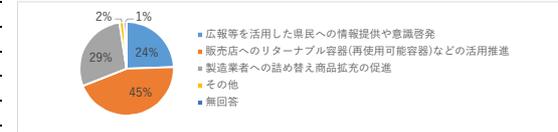
(2)マイボトルやご自分のはし(マイはし)など繰り返し使用できる製品を携帯して、使い捨て製品を使わないようにしていますか。

1 できるかぎりマイボトルやマイはし等を携帯するようにしている	139	42%
2 時々マイボトルやマイはし等を携帯するようにしている	98	30%
3 携帯した方がよいと思うが、実行していない	65	20%
4 携帯していない	27	8%
無回答	3	1%
合計	332	100%



(3)再使用の取り組みを促進するためには、どのような施策が最も有効だと考えますか

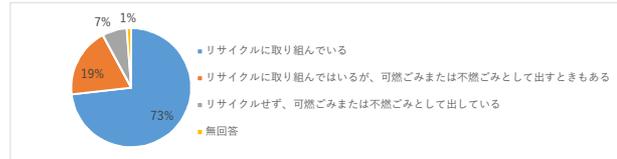
1 広報等を活用した県民への情報提供や意識啓発	81	24%
2 販売店へのリターナル容器(再使用可能容器)などの活用推進	148	45%
3 製造業者への詰め替え商品拡充の促進	95	29%
4 その他	5	2%
無回答	3	1%
合計	332	100%



問17 県では、令和7年度での生活系ゴミを含む一般廃棄物のリサイクル率を平成30年度の17.0%から25.0%にすることを目標にしております。そこで、ゴミの再資源化(リサイクル)に関する取り組みについてお尋ねします。

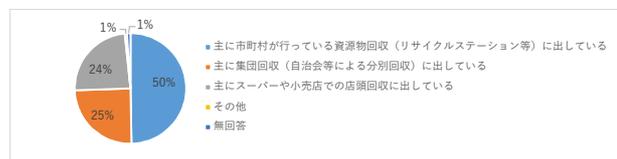
(1)ごみ減量のため、缶、ビン、ペットボトルなど資源物のリサイクルに取り組んでいますか。

1 リサイクルに取り組んでいる	243	73%
2 リサイクルに取り組んではいるが、可燃ごみまたは不燃ごみとして出すときもある	63	19%
3 リサイクルせず、可燃ごみまたは不燃ごみとして出している	22	7%
無回答	4	1%
合計	332	100%



(2)問17(1)で「1」または「2」と回答した方にお聞きます。具体的にどのように取り組んでいますか

1 主に市町村が行っている資源物回収(リサイクルステーション等)に出している	152	50%
2 主に集団回収(自治会等による分別回収)に出している	76	25%
3 主にスーパーや小売店での店頭回収に出している	73	24%
4 その他	2	1%
無回答	3	1%
合計	306	100%



(3)問17(1)で「2」または「3」と回答した方にお聞きます。リサイクルではなく、可燃ごみまたは不燃ごみとして出している理由で主なものを一つ選んでお答えください。

1 リサイクルの回収日が少ない	10	12%
2 リサイクルの回収場所が遠い	12	14%
3 リサイクルするほど資源物の量がでない	24	28%
4 分別の仕方がわからない	5	6%
5 回収場所や回収日がわからない	4	5%
6 分別が面倒	18	21%
7 その他	4	5%
無回答	8	9%
合計	85	100%



(4)問17(2)で「3」と回答した方にお聞きます。店頭回収へ出すものうち、最も多いものを一つ選んでお答えください。

1 新聞紙、チラシ	8	11%
2 ペットボトル	39	53%
3 トレイ	4	5%
4 空き缶	11	15%
5 空き瓶	0	0%
6 牛乳パック	2	3%
7 段ボール	4	5%
8 その他	0	0%
無回答	5	7%
合計	73	100%



(5)エコマーク(環境マーク)など、環境に優しい商品であることを表すマーク(いわゆる環境ラベル)の入った商品を購入していますか。(例 再生紙トイレットペーパー、再生原料の台所商品、再生原料使用の文具などをひとつ選んでください。)

1 積極的に購入している	28	8%
2 できるだけ購入している	122	37%
3 購入した方がよいと思うが、実行していない	34	10%
4 特に意識はしていないので、購入しているのかわからない	132	40%
5 エコマーク(環境ラベル)を知らない	7	2%
無回答	9	3%
合計	332	100%



(6)携帯電話やデジタルカメラなどの小型家電には有用な金属などが含まれており、多くの市町村で小型家電のリサイクルの取り組みは行われているとされています。小型家電の廃棄はどのように行っていますか。あてはまるものを全てお答えください。

1 市町村が設置している回収ボックスを利用している	62	16%
2 市町村が指定した日および場所に持ち込んでいる	70	18%
3 市町村の環境センター(ごみ処理施設)に持ち込んでいる	38	10%
4 販売店に引き渡している	115	30%
5 販売物処理業者に引き渡している	12	3%
6 回収していることを知らないため協力していない	26	7%
7 回収している小型家電の種類がわからないため協力していない	32	8%
8 住んでいる市町村で回収を行っていないため協力していない	5	1%
9 その他	10	3%
無回答	9	2%
合計	379	100%



(7)市町村が小型家電を回収するにあたり、どのような方法が協力しやすいですか。当てはまるものを全てお答えください。

1 各地域の公民館に回収ボックスを設置する	102	25%
2 回収ボックスを公共施設以外の場所(スーパーなど)に設置する	144	36%
3 小型家電の回収日を設ける	127	31%
4 わからない	13	3%
5 その他	2	0%
無回答	16	4%
合計	404	100%



(8)プラスチックのリサイクル等を促進するために、令和4年4月1日に新たに「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」ができましたが、この法律について知っていましたか。一つ選んでください。

1 新しい法律の内容もできたことも知っている	26	8%
2 新しい法律ができたことは知っているが、その内容は知らない	79	24%
3 新しい法律ができたこともその内容も知らない	220	66%
無回答	7	2%
合計	332	100%



(9)「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」により、お住まいの市町村によっては、ペットボトルやトレイなど容器包装以外のプラスチック製品(パケツやかごなど)も資源物で回収できるようになります。もし、お住まいの市町村がプラスチック製品の資源物回収を始める場合、回収に協力していただけますか。一つ選んでください。

1 プラスチック製品の資源物回収に積極的に協力する	201	61%
2 プラスチック製品の資源物回収にできるだけ協力する	123	37%
3 プラスチック製品の資源物回収に協力しない(従来どおり可燃ごみまたは不燃ごみとして出す)	2	1%
無回答	6	2%
合計	332	100%



(10)リサイクルの取り組みを促進するためには、どのような施策が最も有効だと考えますか。一つ選んでください。

1 県民へのリサイクル製品活用の啓発	65	20%
2 製造業者への自主回収の啓発	23	7%
3 現在のゴミの分別の徹底	61	18%
4 ゴミの分別品目を増やす	22	7%
5 スーパーや小売店での店頭回収の拡充	74	22%
6 市町村が回収する場所や回収頻度を増やす	68	20%
7 自治体による生ごみ処理機など再生のための設備の補助制度創設	10	3%
8 その他	2	1%
無回答	7	2%
合計	332	100%

